

日本の地方に暮らす

法人正会員 認定 NPO 法人 道普請人
理事 福林 良典



私事ですが、2018年1月より住民票を宮崎市に移し、生活を始めています。それまでの約10年間、NPO法人道普請人の常務理事として京都を拠点にしつつ、国際協力活動を行っていました。年間約8~9ヶ月をアジア、アフリカ、太平洋州の国々で過ごしていました。1カ国あたり約1週間~2ヶ月間の滞在で、複数国を行き来していました。今は大学での職を得て、兼業理事として道普請人の活動を行っています。

宮崎での暮らしを新鮮に感じています。確かにインフラ整備状況は、生まれ育った京都とは大きく異なります（新幹線の駅の有無など）。また私はこれまでは短期滞在のよそ者として、途上国地方・農村における生活道路整備の支援活動を行ってきました。しかし今では地元大学の教員として、宮崎における道路の防災対策や整備に関わるようになりました。日本の地方創生に向けたインフラ整備に、当事者として高い関心を持つようになりました。

道守みやざき会議という、民主体の任意団体の活動を知りました。道路を自分達の生活空間として捉え、道に対してできることを自主的に実践しています。宮崎河川国道事務所にて、会員（個人、企業、NPO、市民団体ら）が実践されてきた清掃や花壇の整備、草刈などの活動が紹介されていました。道路管理者である国や自治体と、連携・協力関係にあります。若い世代の巻き込みや活動資金の確保など、難しい課題にそれぞれが工夫されている様子もわかりました。

2018年3月に、プラタモリで宮崎が取り上げられました。宮崎県日南市在住の星野会員が、その様子をCNCNのメーリングリストに投稿されていました。宮崎にも会員がおられるという手前勝手な親近感から、一度お話を伺いたいと思っていました。不躰ながら面会希望のメールをしたところ、お時間をいただき活動内容やCNCNとの関わりについて、情報交換させていただきました。宮崎におけるCNCN仲間として、これからもお付き合いさせていただくことになっています。

NPO法人グリーンイノベーション宮崎が主催するシンポジウムで、先日講演させていただきました。約130名の方が来られており、主催団体のネットワークや地域の方々の関心の高さに驚かされました。

地方にも建設系NPO法人や任意団体が多くあり、各々の活動趣旨に沿った活動があるのだと思います。地元となった宮崎でのこうした団体の活動を知り、地域貢献につながる活動をするとともに、自団体の活性化につなげられるとよいと思っています。

また、新しい公共、としての役割をより充実させていく方法も考えてみたいです。

